

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	与謝野晶子顕彰事業の推進			事業番号	008-036
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
			有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画					
3	事業開始年度	平成 9 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内外の与謝野晶子・文学愛好者等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	与謝野晶子は本市が生んだ日本の近代文学を切り開いた歌人の一人であり、幅広い分野において多くの業績を残している。こうした晶子の業績・メッセージ・生き方について、広く市内外に発信し、その顕彰を行うことにより、堺の文化的特色の創出や市民の郷土愛の醸成を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	与謝野晶子を学び研究し、継続的に顕彰する文学研究家、歌人、愛好家等幅広い人材で組織された総合的な組織である与謝野晶子倶楽部が行う事業に対し助成を行う。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	与謝野晶子倶楽部 (補助金)
10	公民連携・協働事業	与謝野晶子の顕彰施設である、さかい利品の杜と連携し事業を実施。

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	与謝野晶子の顕彰を通じた都市魅力の向上				
	当該目標を設定した理由	顕彰事業を通じ、堺ゆかりの先人の功績等を広く発信することが、都市魅力の向上に繋がると考えるため。				
	目標に対する実績	令和元年度市政モニター調査で、与謝野晶子を含めた堺ゆかりの先人たちを「世界に誇れる歴史文化資源と考えている」と答えた方の割合が8割				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
12	与謝野晶子倶楽部事業への参加者 (短歌大会、各種講座)	人	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標値	2,000	5,000	6,000
			実績値	2,339	6,681	
	達成率	117%	134%			
	当該指標を選定した理由	より多くの方に事業参加いただくことが、与謝野晶子の功績や生き方を知り、短歌への理解を深めていただくことに繋がると考えるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	短歌大会投稿者、各種講座参加者				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	与謝野晶子顕彰事業の推進	事業番号	008-036
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	4,500	1,617	1,638	890	1,556
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	4,500	1,617	1,638	890	1,556
14 人件費 (b)	6,320	6,390	7,130	7,130	6,520
15 年間経費(c)=(a)+(b)	10,820	8,007	8,768	8,020	8,076

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	俱樂部補助金	R2	決算	881	881	R2	決算		
		R3	予算	1,425	1,425	R3	予算		
	消耗品費	R2	決算	0	0	R2	決算		
		R3	予算	59	59	R3	予算		
	旅費	R2	決算	9	9	R2	決算		
		R3	予算	67	67	R3	予算		
費用弁償	R2	決算	0	0	R2	決算			
	R3	予算	5	5	R3	予算			
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 短歌大会投稿者、各種講座等の事業参加者	人	2,339	6,681
② 上記①にかかる年間経費	千円	8,007	8,020
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,423	1,200
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和元年度までは、主にさかい利晶の杜で実施する講演・講座等に多くの市民に参加いただいていた。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講演・講座が中止等になり、その参加人数が減少したが、当該年度から開始した高校生向けの「さかい与謝野晶子青春の短歌大会」に、全国から6,600人を超える高校生に参加してもらうことができた。結果、事業への参加者が増え、大きく費用対効果を上げることに繋がった。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	与謝野倶楽部事業の講演・講座等の多くはさかい利晶の杜との共催事業であり、当該施設に多くの方が来訪されるきっかけとなっている。また、「さかい与謝野晶子青春の短歌大会」は、北は東北、南は九州の6,600人を超える高校生に、短歌大会及び堺の偉大な先人与謝野晶子を通じて、堺市を知ってもらい、来訪のきっかけをつくることができたと考えている。
----	--